



# 続けたことだけが力になる

第3クォーターから「ノートまとめ」に取り組み始めています。

ノートまとめとは、教科書等の指定された箇所から、重要な内容を「選択→抽出→要約」する学習。

まとめる分量としては、ノート見開き 2 ページがスタンダードですが、導入期ということもあり現在は 1 ページに設定しています。

第一回の内容は「ゴミの処理と利用」でした。

ごみの分類。収集方法。分別方法。処理の仕方。清掃工場の仕組み。ごみの量の変化。再利用の方法。街独自の取り組み。私たちにできること。

関係する記述は、教科書と資料集を合わせて十数ページにもなります。

相当な分量です。

当然、ノート 1 ページに収まる量ではありません。

収めるためには必然的に、必要な情報とそうではない情報を「取捨選択」することが必要です。

重要度の高い情報を、全体の中から選び取る作業です。

さらに、選択した上で、キーワードだけを抽出したり、記述を大幅に要約することも求められます。

結構高度な学習内容だと言えます。

それでも、子どもたちはものすごい意欲で取り組んでいました。

細かい説明は、ほとんどしていないにも関わらず、です。

私が言ったことは、端的に言うところだけです。

先輩を、超えなさい。

歴代渡辺学級のノートまとめ作品を見せて、このように言いました。

テレビに先輩方の作品が映るたびに、歓声が起きました。

私があれば説明するよりも、先輩方のノートは雄弁に語ってくれました。

「俺たちを超えられるかな？」という、後輩への挑戦状です。

「君たちならきっとできるだろ？」という、先輩からの激励です。

先輩のノートに任せて私はほとんど説明を行わず、手抜きともいえるような仕事っぷりでしたが、子どもたちは火が付いたように取り組みました。

相当な時間を取ったのですが、全く集中力が途切れません。

高い集中力を持続できる時間が伸びてきたことも、一つの成長だといえるでしょう。

こうした力は、マラソンに必要な「持久力」とよく似ています。

机に向かい続ける力、いわば「学習持久力」は一朝一夕に身につく力ではありません。

じっくり続ける経験を通して、ゆっくりと伸びていく力です。

練習を一度経験して、「災害」の単元でもノートまとめに取り組みました。

第1回の経験が、第2回に全員生きていることが分かります。

全員のノートまとめの質が大きく上がってきているからです。

どんなことでもそうですが「続けたことだけ」が力になります。

暗唱も漢字も計算も、そしてノートまとめも「続けること」で力が磨かれ、高まっていくことは間違いありません。

そうして昨日、災害のノートまとめが提出されました。

出来栄は正直に言って、私の予想を完全に上回りました。

毎年、1・2回目は発展途上作品群です。

教えて、習いたてなのですから、当然と言えば当然です。

しかし、どの子のノートまとめも、私の想像の上を行きました。

今年の渡辺学級、これが発展途上だとしたらと考えるだけで、ワクワクドキドキが止まりません。

また、2時間も使ったにもかかわらず、「まだやりたい！」とお願いに来る子が何人もいて、仕方がないので土日を使っても良いこととしました。

あくなき探求心と言うか、見事なまでの最上思考と言うか、いずれにせよ自分の納得のいく作品を創ろうとする姿勢が素晴らしいです。

今後も、別単元で同様にノートまとめに取り組む予定でいます。

作品の中から、いくつか抜粋して紹介します。



